

2026年3月期 個人投資家向け説明会

2026年3月14日

人・街・未来をまもる



証券コード：9686





池田 博之（いけだ ひろゆき）

1960年10月9日生まれ（65歳）

1983年3月 横浜国立大学経営学部卒業

1983年4月 大和銀行(現りそな銀行) 入行

2018年3月 りそな銀行 副会長

2018年5月 (一社)関西経済同友会 代表幹事

2020年6月 東洋テック株式会社

代表取締役社長（現職）

2024年5月 一般社団法人大阪府警備業協会
会長（現職）

2024年6月 一般社団法人全国警備業協会
副会長（現職）

1	会社概要・事業概要	3
2	東洋テックの特徴・強み	12
3	2026年3月期 第3四半期決算の状況	16
4	最近のトピックス紹介	20
5	第13次中期経営計画の取組状況について	27

1. 会社概要・事業概要



警備とビル管理の会社

- ・ 関西初の警備会社
- ・ 関西唯一の上場警備会社
- ・ 銀行が作った警備会社



創業



1966年

資本金



46億18百万

従業員数



2131名

臨時雇用者数



2583名

売上高



349億

営業利益



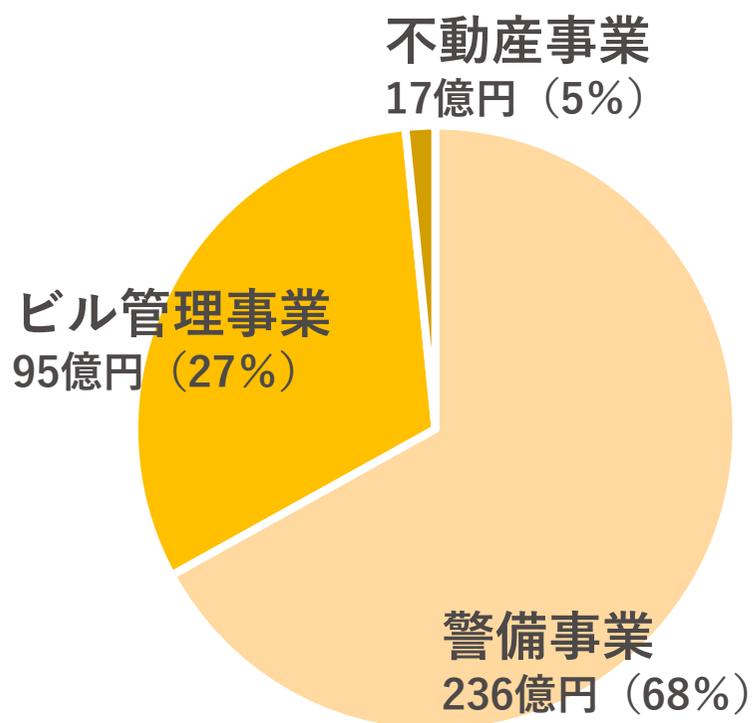
10.4億

(2025年3月時点)

本社所在地	大阪市浪速区桜川一丁目7番18号
設立	1966年1月5日
資本金	46億18百万円
事業内容	警備事業…………… 機械警備業務、輸送警備業務、常駐警備業務、 ATM管理業務、工事・機器販売、ホームセキュリティ ビル管理事業… ビル総合管理、清掃業務 不動産事業…………… 不動産賃貸業務、不動産仲介業務、不動産販売業務
株式	東京証券取引所スタンダード市場上場 コード番号 (9686)
売上高	349億円 (2025年3月連結実績)
従業員数	2,131名 (連結) 他、臨時従業員数2,583名 (2025年3月時点)
グループ会社	東洋テックセキュリティサービス(株)、東洋テック姫路(株)、 東洋テックビルサービス(株)、テック不動産(株)、五大テック(株)、 アムス・セキュリティサービス(株)、関西ユナイトプロテクション(株)

- | | |
|----------|---|
| 1966年 1月 | 東洋警備保障(株) (現 東洋テック(株)) を設立 |
| | 福德相互銀行を設立母体とし、創業に賛同出資した企業の多くも金融系 |
| 1967年 2月 | 機械警備業務を開始 |
| 1968年 2月 | 輸送警備業務を開始 |
| 1980年 5月 | 金融機関のキャッシュサービスコーナーの自動運行管理業務を開始 |
| 1982年 9月 | CD総合管理を行うATM管理業務を開始 |
| 1988年 4月 | 東洋警備保障(株)から東洋テック(株)に社名を変更 |
| 1990年12月 | 大阪証券取引所市場二部に上場 |
| 2001年 9月 | 関西電力(株)、日本パナユーズ(株)とホームセキュリティ共同会社
「(株)関電セキュリティ・オブ・ソサイエティ」 (関電SOS) 設立 |
| 2002年 6月 | 関電SOSのホームセキュリティサービスを開始 |
| 2013年 7月 | 東京証券取引所市場第二部に移行 |
| 2022年 4月 | 東京証券取引所スタンダード市場に移行
グループ会社 東洋テックビルサービス(株)設立 |
| 2022年 5月 | 五大テック株式会社 (本店：大阪市) を当社の関係会社とする |
| 2023年 4月 | 清掃会社2社を東洋テックビルサービス及び東洋テック姫路に統合 |
| 2024年 5月 | アムス・セキュリティサービス(株) (大阪)、アムス・セキュリティサービス(株) (福知山)、
アムス・シークレットサービス(株)を当社の関係会社とする |
| 2024年 6月 | 関西ユナイトプロテクション(株)を当社の関係会社とする |
| 2024年10月 | アムス・セキュリティサービス(株) (大阪)、アムス・シークレットサービス(株)を
東洋テック(株)に合併 |

< 2025年3月期売上高 >



警備事業

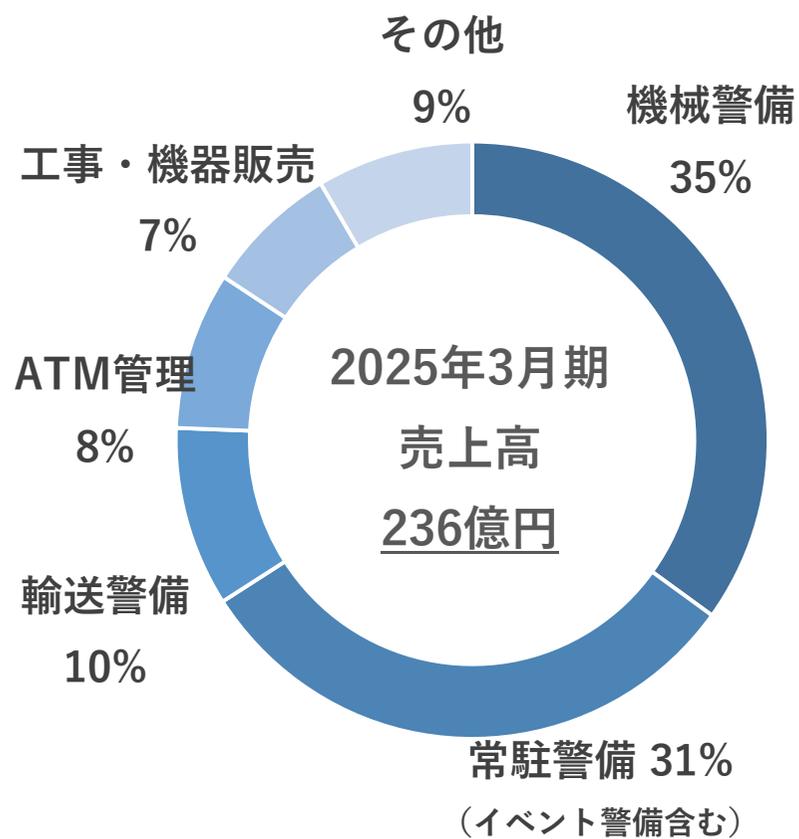
ビル管理事業

不動産事業

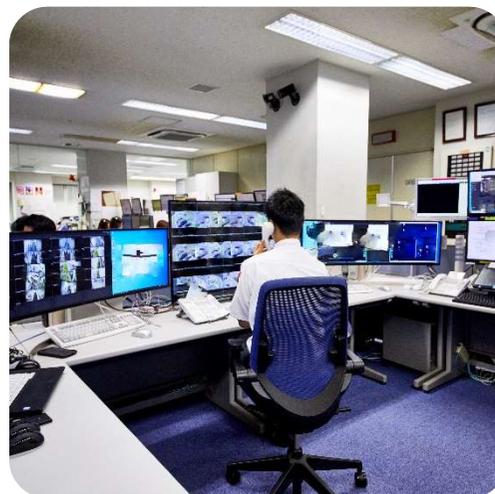
東洋テック
東洋テックセキュリティサービス
東洋テック姫路
五大テック
アムスセキュリティサービス
関西ユナイトプロテクション

東洋テックビルサービス

テック不動産



機械警備



常駐警備



輸送警備



ATM管理



建物に関するあらゆる業務をフルサポート！

- ✓大規模修繕
- ✓消防設備点検
- ✓エレベーター設備点検
- ✓給水設備点検
- ✓建物の日常清掃、定期清掃 等

日常清掃・定期清掃



設備管理・点検・改修



■ 賃貸業務

収益不動産投資 計6件

オフィス 1件



住宅 2件



ホテル 1件



商業施設 2件



■ 仲介業務

売主



仲介手数料



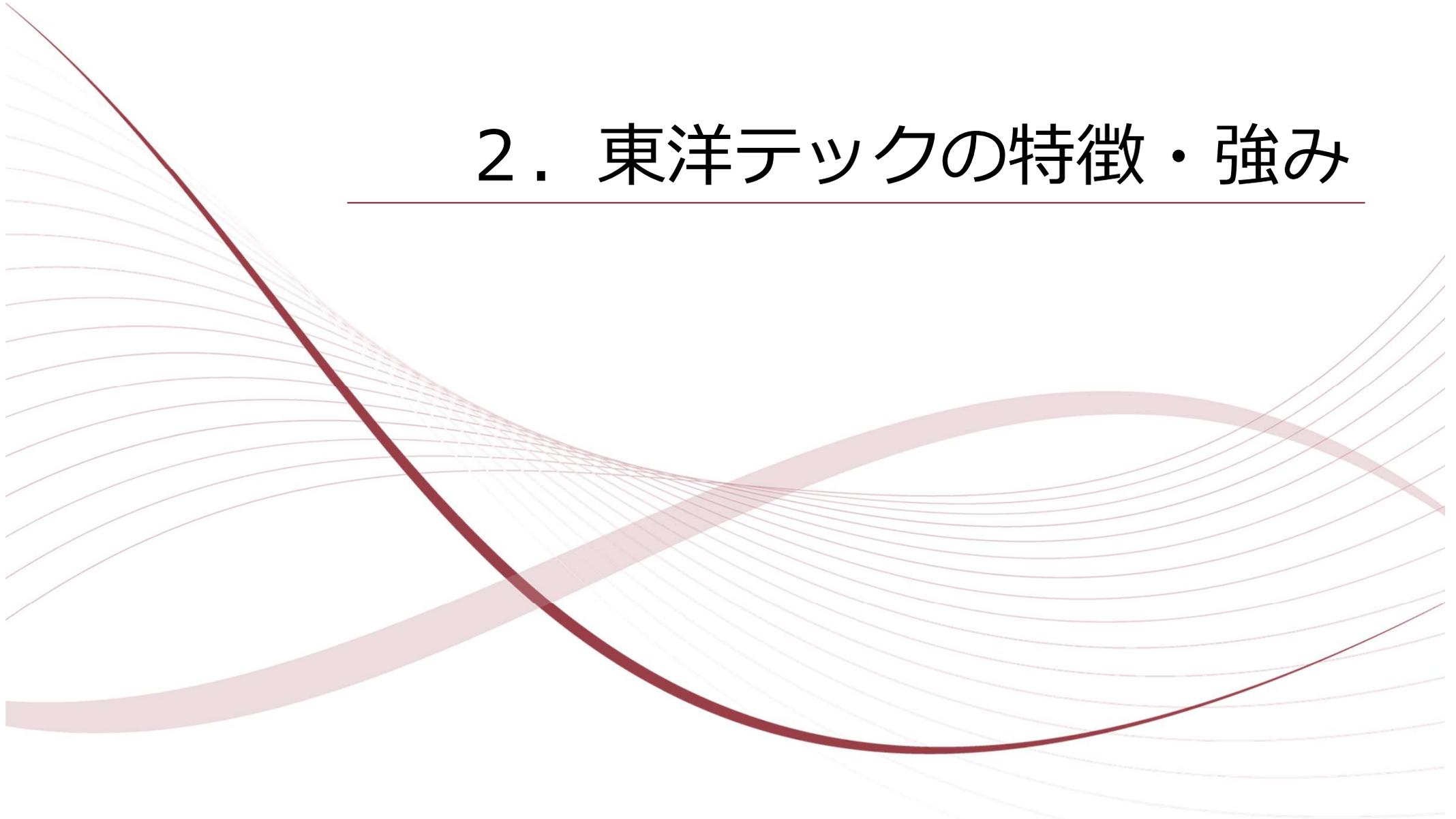
仲介手数料

買主



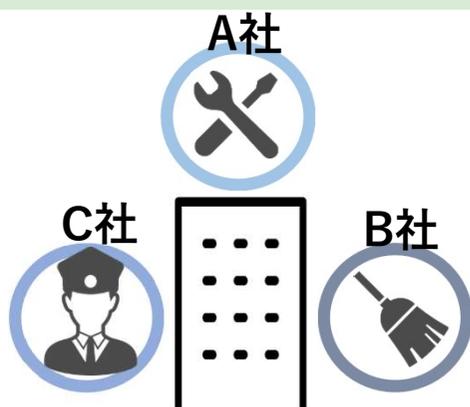
- 不動産情報を早期取得。
- 他社に先駆けビル管理を一括して受託する為のアプローチを行う。

2. 東洋テックの特徴・強み



- 警備からビル管理(設備管理・修繕・点検・清掃ほか)まで一括して任せられる “総合ビル管理会社”

ビル1棟を東洋テックグループで一括管理



- ・業務効率化
- ・コスト削減

東洋テックグループ

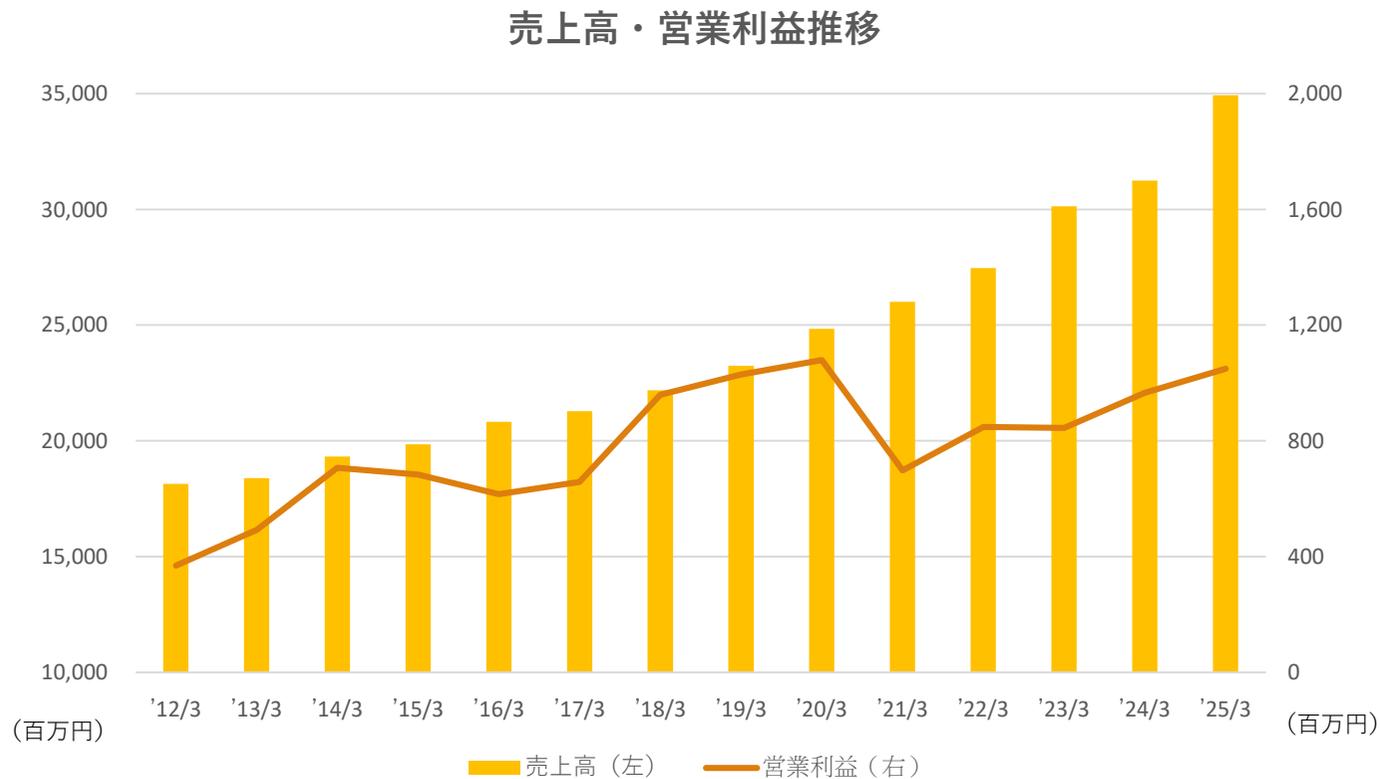


	ビル管理会社 A社	清掃会社 B社	警備会社 C社
警備	×	×	○
設備管理他	○	×	×
清掃	○	○	×

当社グループ

- 東洋テック
東洋テックセキュリティサービス
東洋テック姫路、五大テック
アムスセキュリティサービス
関西ユナイテッドプロテクション
- 東洋テックビルサービス
- 東洋テックビルサービス

- 創業以来、営業利益・経常利益は黒字を確保。
- 警備事業や清掃業務はストックビジネスであり、安定した業績。



**創業以来
黒字**

**14期
連続増収**

対象となる株主様

毎年3月末日現在の株主名簿に記載または記録された **500株以上**の当社株式を保有されている株主様。

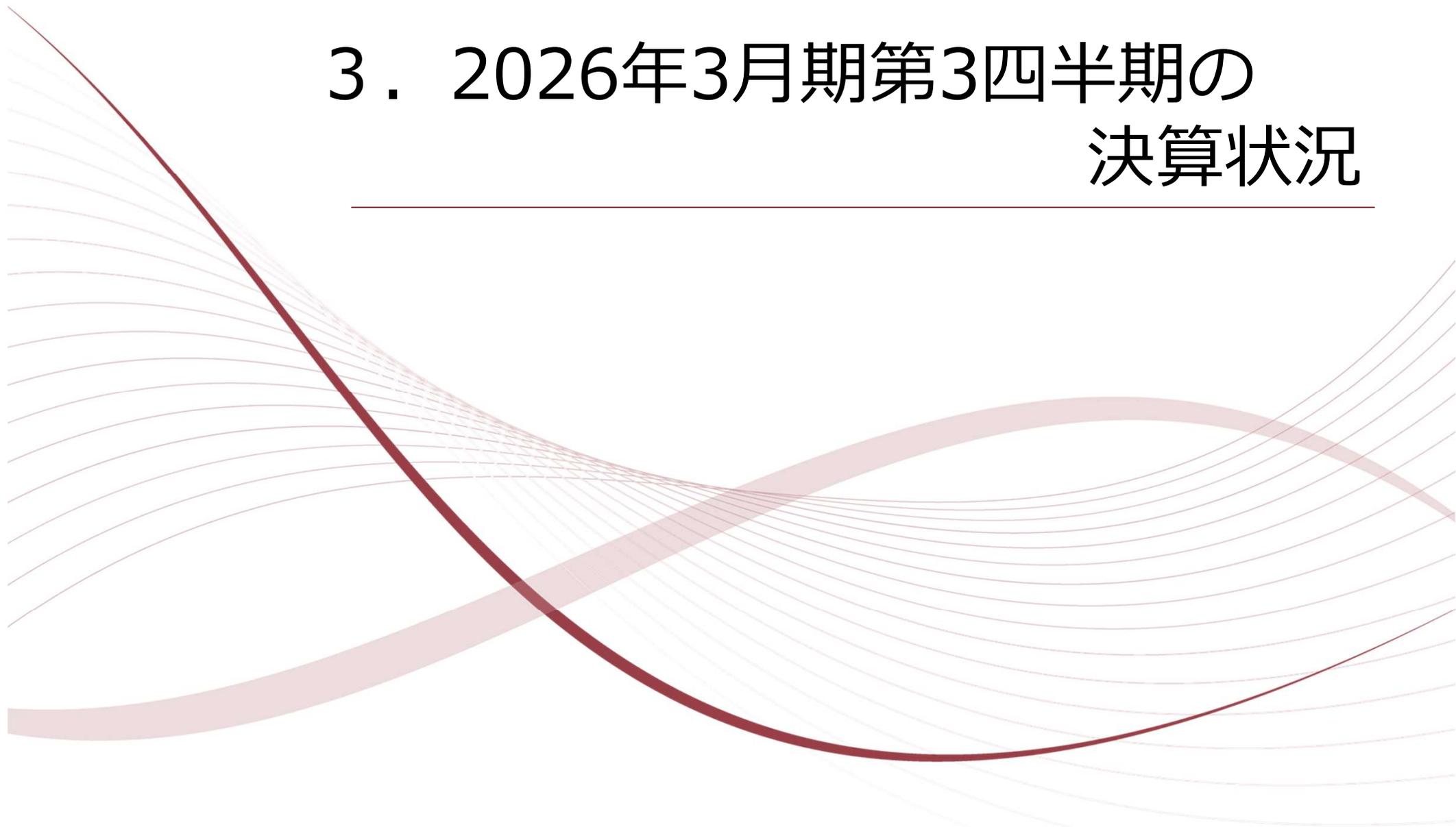
保有株式数に応じて優待ポイントを進呈いたします。
株主様限定の特設ウェブサイトに掲載されている商品からお好みの商品をお選びいただけます。

株主優待の内容



保有株式数	進呈ポイント数	進呈時期
500株 ~ 599株	5,000 P	5月下旬
600株 ~ 699株	7,000 P	
700株 ~ 799株	9,000 P	
800株 ~ 899株	11,000 P	
900株 ~ 999株	13,000 P	
1,000株 ~ 1,499株	15,000 P	
1,500株 ~ 1,999株	25,000 P	
2,000株 ~ 2,499株	35,000 P	
2,500株 以上	50,000 P	

3. 2026年3月期第3四半期の 決算状況



(単位：百万円・%)	2023/3 実績	2024/3 実績	2025/3 実績	2026/3 計画	2026/3 3Q累計	2026/3 3Q進捗率
売上高	30,139	31,249	34,925	42,000	34,458	82.0%
営業利益	844	966	1,049	2,450	2,768	113.0%
経常利益	964	1,063	1,063	2,550	2,845	111.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	741	626	692	1,600	2,148	134.3%

セグメント別売上高及びセグメント利益の概要

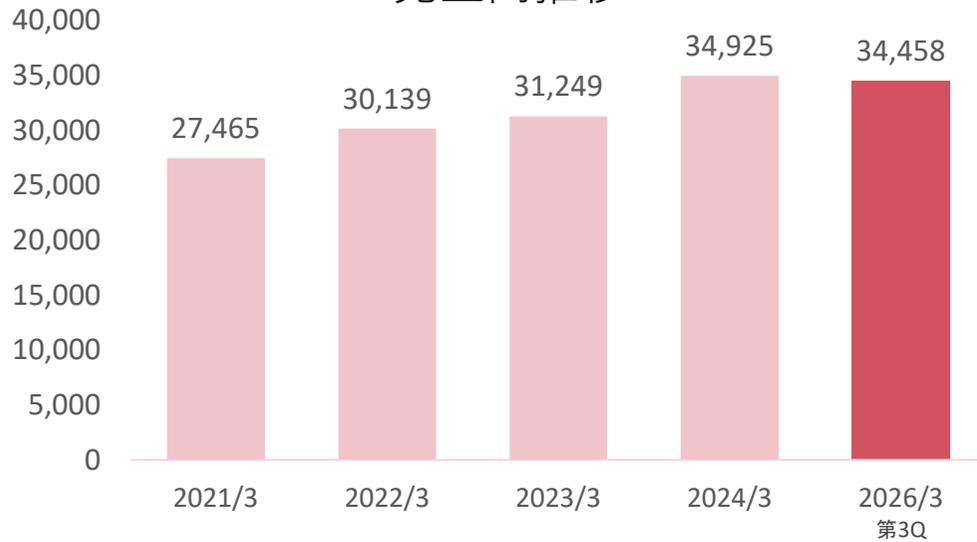
- 警備事業：万博関連売上7,798百万円が寄与、常駐警備が増収となったほか、価格改定への継続的な取組み等の効果もあり、機械警備をはじめ全ての業務で増収。前年度のM&A費用のような特殊要因の発生もなく、増収増益。
- ビル管理事業：改修工事提案フローと価格改定への取組みが定着、前期の不採算先解約分をカバー。加えて万博関連の清掃・管理売上580百万円も寄与、増収増益。
- 不動産事業：賃貸部門は安定稼働を維持する一方、前年同期のような大型の売却案件や販売仲介案件がなく、減収減益。

(単位：百万円)	2025年3月 3Q実績			2026年3月 3Q実績			前年同期比		
	売上	構成比 (%)	セグメント利益	売上	構成比 (%)	セグメント利益	売上	増減率 (%)	セグメント利益
警備事業	17,250	69.1	247	26,231	76.1	2,131	8,981		1,883
ビル管理事業	7,055	28.3	130	7,859	22.8	515	804		384
不動産事業	649	2.6	206	367	1.1	128	△282		△77
調整額	—	—	△11	—	—	△6	—	—	4
合計	24,954	100	573	34,458	100	2,768	9,503	100	2,195

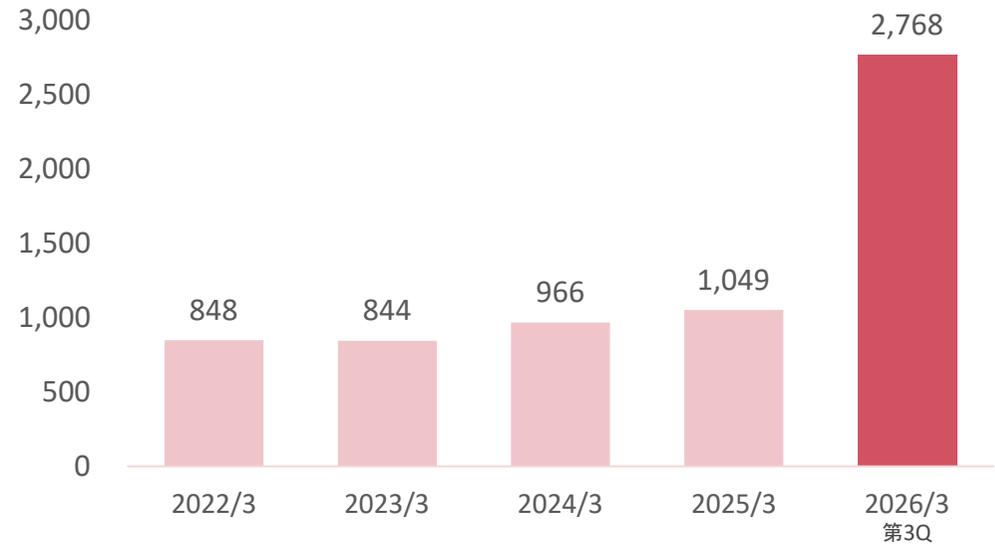
		2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月
総資産額	百万円	29,879	31,586	35,772	38,798
純資産額	百万円	20,446	20,623	21,312	21,738
自己資本比率	%	68.4	65.3	59.6	56.0
EPS (1株当たり利益)		43円61銭	72円60銭	60円98銭	67円09銭
PER (株価収益率)	倍	22.42	13.15	20.91	20.06
1株当たり配当金 (年間表示)		30円00銭	33円00銭	36円00銭	40円00銭
PBR (株価純資産倍率)	倍	0.51	0.47	0.62	0.64
BPS (1株当たり純資産)		1,935円00銭	2,018円27銭	2,071円95銭	2,099円10銭
ROE (株主資本利益率)	%	2.25	3.60	2.94	3.22
ROA (総資産純利益率)	%	1.54	2.35	1.75	1.79
配当利回り	%	3.07	3.46	2.82	2.97
配当性向	%	68.8	45.5	59.0	59.6
DOE (株主資本配当率)	%	1.56	1.52	1.75	1.87

(単位：百万円)

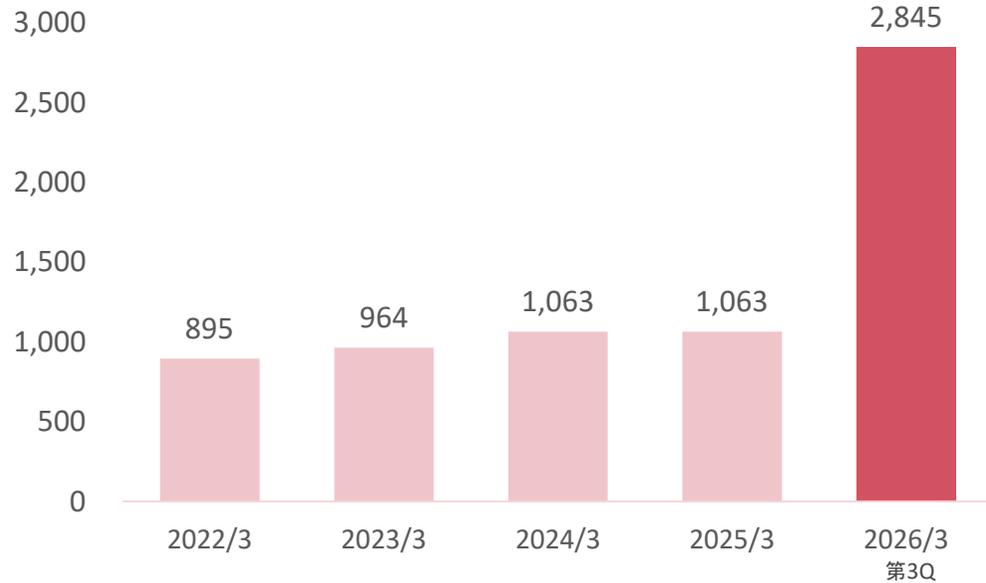
売上高推移



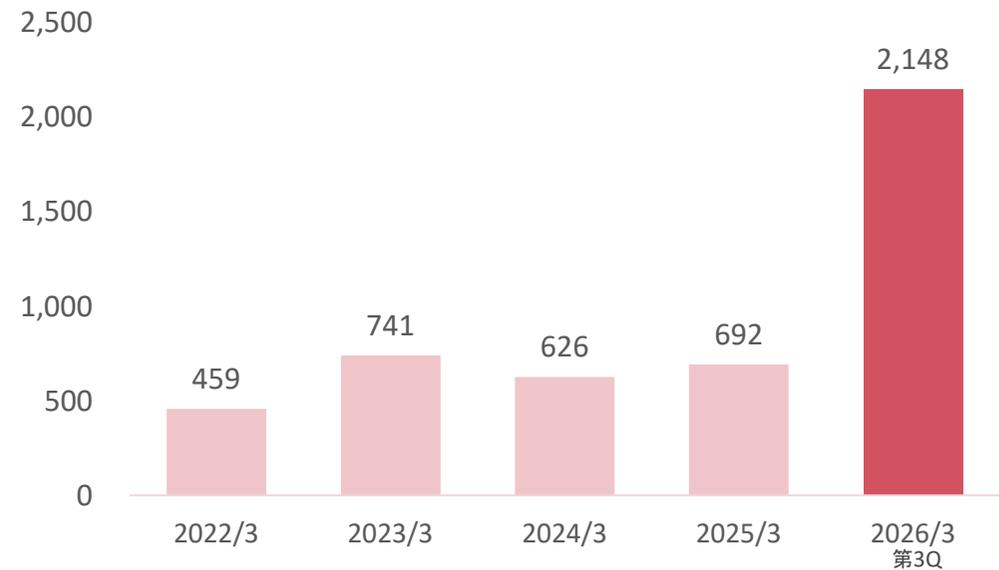
営業利益推移



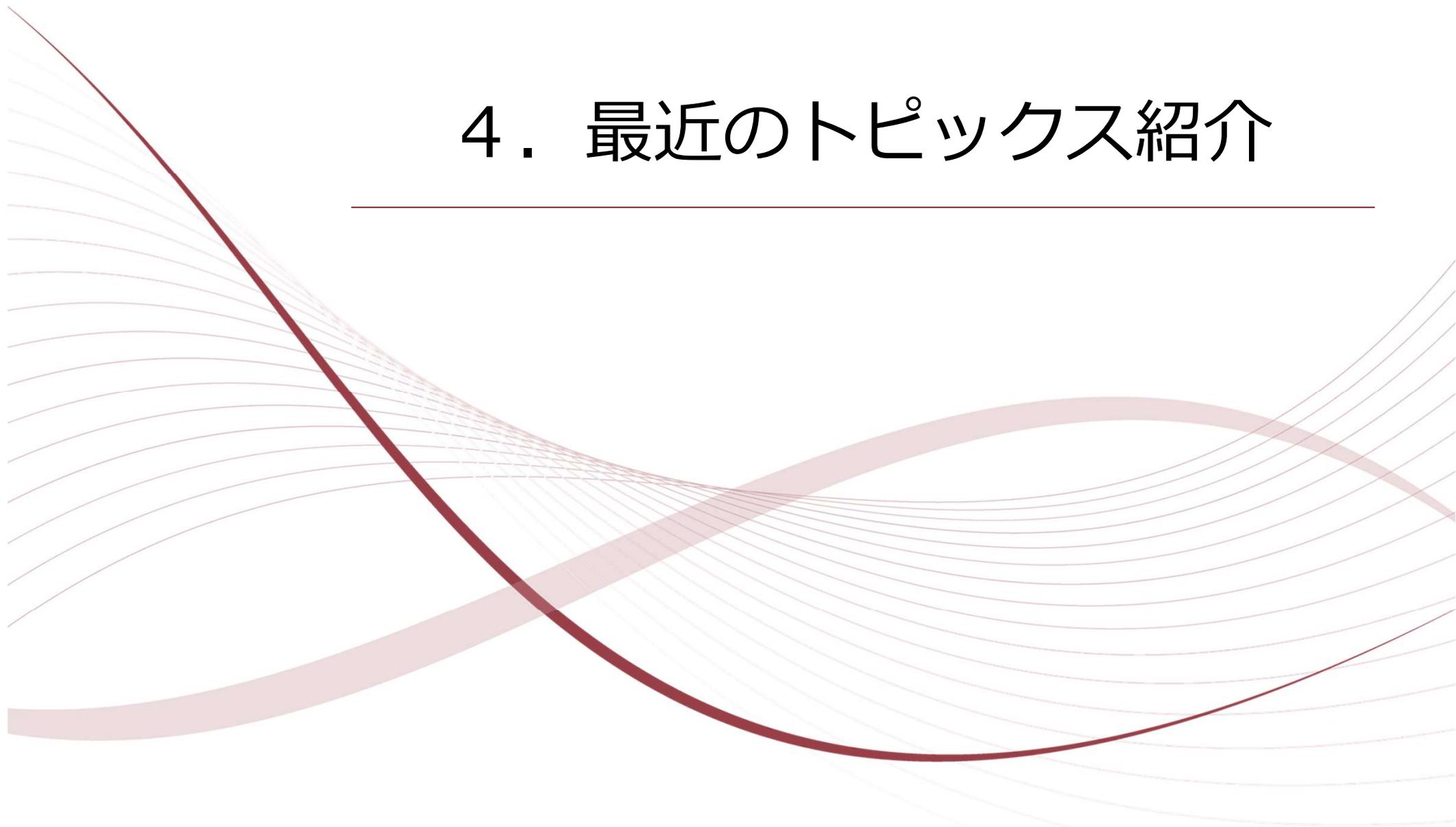
経常利益推移



親会社株主に帰属する当期純利益推移



4. 最近のトピックス紹介

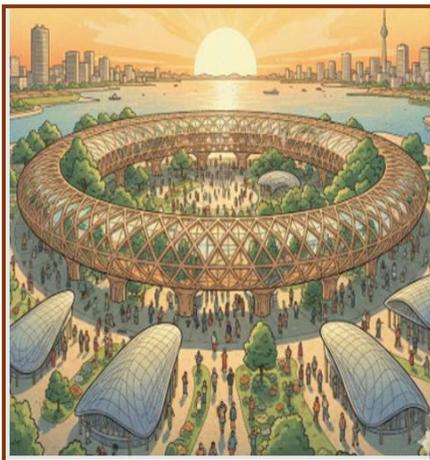


- 当社を幹事会社とする3社との共同企業体（JV）で、2025年日本国際博覧会協会よりゲート警備・会場警備を受注。
- 協会発注以外にもパビリオン・駐車場・公共交通機関等で、警備・ビル管理を受注。



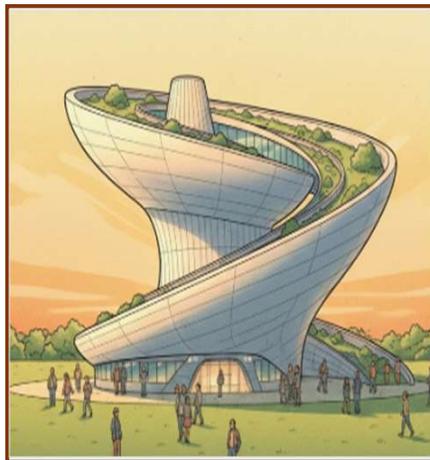
万博協会

ゲート警備および
会場警備をJVにて
受注



パビリオン 駐車場

国内・国外パビリオン・
会場駐車場の警備・清掃
業務を受注



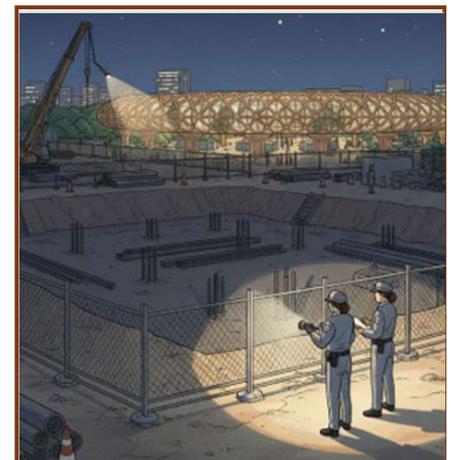
公共交通機関

会期中の公共交通機
関の利用者の増加に
対応する警備を受注



会場工事

万博開催まで会場工事
現場の警備を受注



《財務面での効果》

売上高 8,378百万円、営業利益 1,247百万円



売上高への大幅な貢献

万博開催に伴う受注より、警備事業およびビル管理事業の両輪で、通期売上高の大幅な押し上げ。



利益率の最大化

JV幹事会社としての効率的な運営と、清掃等を含めた高付加価値サービスの提供により、高い利益率を確保。



既存業務の業績の維持・向上

万博へ人員シフトするなか、残った人員の価格改定への取組み強化等により、既存業務の業績を維持・向上。



大型イベント対応力

国家プロジェクトの警備JV幹事会社としての実績は、現場対応力を証明し、今後の大型案件受注への強力なアドバンテージとなります。



知名度・ブランド向上

世界的イベントの最前線で安全を守る企業として、知名度と社会的信頼性が飛躍的に向上し、営業・人材採用でもプラスの効果期待できます。



グループ総合力の向上

万博へ人員を大きくシフトするなか、既存業務を少人数で運営し、グループ全体の総合力が高まりました。



アムス・セキュリティサービス株式会社

2024年5月1日 株式取得（子会社化）

2024年10月1日 大阪所在の2社を合併



関西ユナイトプロテクション株式会社

2024年6月3日 株式取得（子会社化）



M & Aの効果・副次効果

効果

① 収益力の増強

- ・ 収益率の高い機械警備の増強により収益力が向上



② 警備事業のラインナップ拡充

- ・ 従来手薄であったイベント警備の取込みにより警備業務サービスラインナップが拡大し、お客様ニーズへの対応力が向上



副次効果

① 万博警備対応力の向上

- ・ 大阪のアムスグループの合併により人員効率化効果を創出することで万博警備要員を確保
- ・ イベント警備経験を蓄積した人員の確保
- ・ 大型イベント警備のノウハウの吸収・展開

② さらなる収益力の向上

- ・ 合併により、対象機械警備の対応を既存人員でカバーする効率的運用によるコスト削減の実現

サービスラインナップの拡充による顧客基盤の拡大

TEC-SMART

お手頃価格で安心をもっと身近に、
本格的なセキュリティパッケージ。

対象例：飲食店等の店舗、診療所
保育園、小規模事業所 等

point

- ・低価格
- ・スマートフォンで警備操作
- ・セキュリティカードが不要



Mimamori-O -ミマモリ・オ-

単身の高齢者やお子様の生活を見守り、
ご家族に安心をお届け。



point

- ・低価格
- ・シンプル
- ・気軽に導入



冷蔵庫やトイレ、玄関の扉にセンサ
ーを取り付け、開閉・振動を検知



一定時間動作しない
場合、メール通知

デジタルトランスフォーメーションへの取り組み

AI・画像解析サービス

技術革新によるクオリティ向上

機械警備：AI侵入者検知



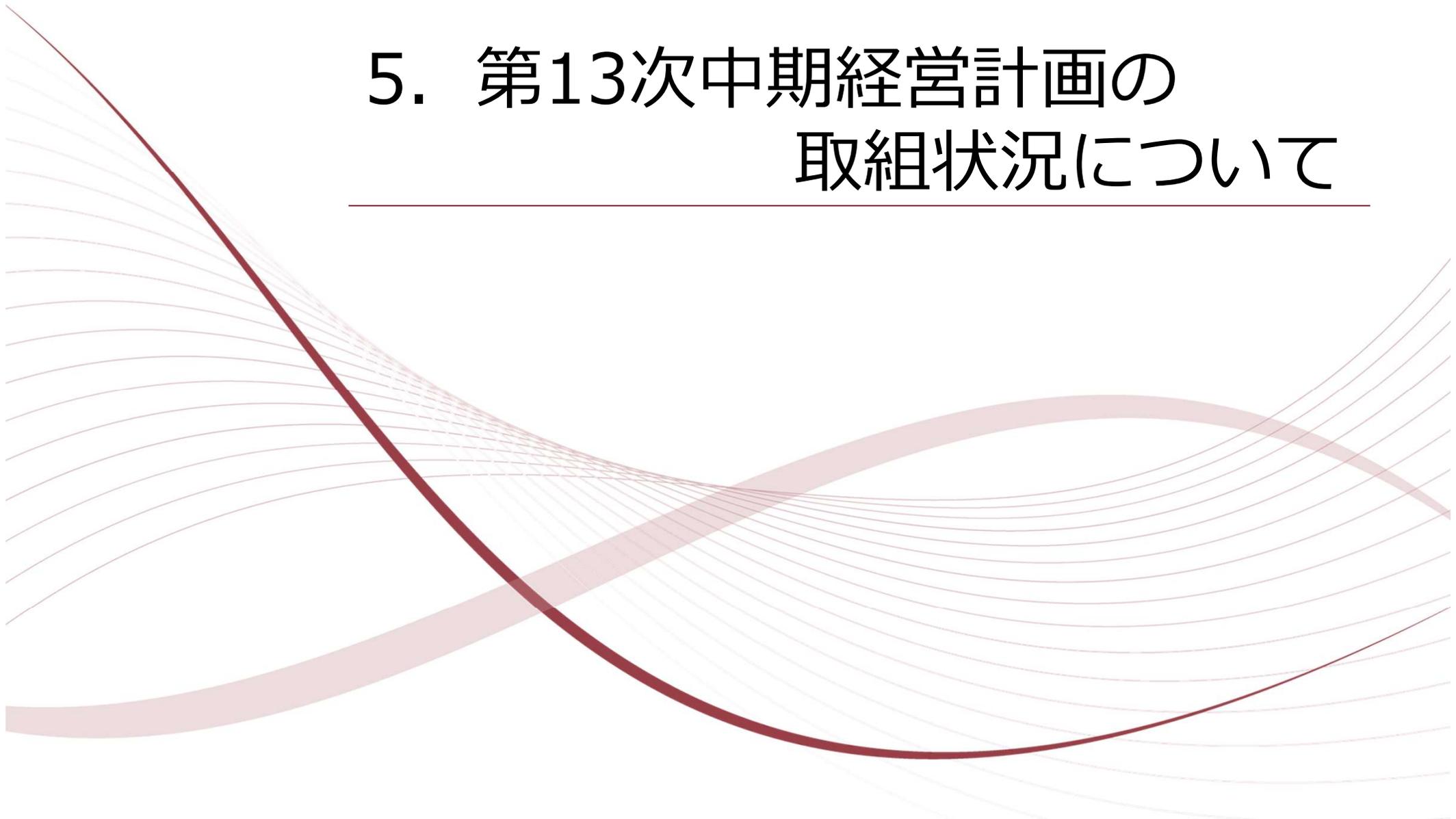
施設警備：AI行動解析



画像監視サービス 屋外侵入監視・画像巡回



5. 第13次中期経営計画の 取組状況について



- ① **目指すべき姿** 警備・ビル管理を中核とした『総合生活安全企業』への進化
- ② **期 間** 2025年4月～2028年3月
- ③ **スローガン** 筋肉質な企業体質への転換（「量」の拡大から「質」の向上へ）
- ④ **成長戦略**
 - 新たな成長領域への進出
 - ・ “ラストワンマイル”の強みを活かしたサービス展開
 - ・ サステナブル・レジリエントな社会づくりのサポート
 - ウェル・ビーイング経営の実践（人的資本経営・株主還元）
- ⑤ **経営指標**

成長投資

投資枠
100 億円

株主還元

配当性向 **50** %目処
(DOE **3.0** %下限)

2027年度定量目標

売上高 **400** 億円
EBITDA **25** 億円

戦略

重点施策

2025年度取組み

事業戦略

既存領域の
収益性
向上

価格適正化

- 価格改定／仕様変更による採算向上
- H S 事業の採算向上施策の実施
- 不採算業務の縮小・撤退

- 価格改定／仕様変更の継続的な交渉
- 不採算業務の縮小・撤退

生産性向上

- A I / D X 活用による効率化(人員・事務)
- 設備点検→リニューアル工事のフロー確立
- 組織体制の検討着手(SSC化・HD化等)

- 警備・清掃ロボットの導入増強
- 常駐警備の集約・統合

成長戦略投資の実行

- M&A
- オープンイノベーション
- 不動産投資:直接投資→間接投資へのウエイトシフト

- 不動産間接投資
2件/800百万円

新たな
成長領域
への進出

“ラストワンマイル”の
強みを
活かしたサービス展開

- 設備管理24時間体制確立による L C C 取込強化
- ライフエンハンス事業(生活雑事代行等)の検討

- 設備管理24時間体制構築
(2026年度より事業展開)
- ライフエンハンス事業(生活雑事代行等)の業務体制構築
(2026年度より事業展開)

サステナブル・
レジリエントな
社会づくりのサポート

- EV関連事業/スマートファーム事業への参入検討

経営基盤戦略

ウェル・
ビーイング
経営の
実践

人的資本経営の
高度化

- ウェル・ビーイング推進部署新設
- 業界上位の処遇(報酬・FRINGEベネフィット)
- 従業員エンゲージメント向上
(社内ベンチャー制度/サーベイに基づく課題抽出~解決/CRE戦略/周年事業/DE&I推進等)

- ウェル・ビーイング推進部設置
- 従業員エンゲージメントの継続実施
- 社内ベンチャー制度創設
- 周年事業の実施

株主還元の拡充

- D O E 3%下限とする配当実施
(配当性向=50%目途)
- 資本政策の検討/実施

- 2025年度 中間配当
32円(前年同期比+12円)
- 2025年度 期末配当(予定)
33円(前年同期比+13円)

1

資本コスト・株価を意識した経営の実践

現状の株価純資産倍率（PBR）は、株価上昇によりやや改善してきておりますが依然0.8～0.9倍の水準で推移しており、成長性と収益性の両面での向上が必要であると認識しております。今後につきましては、引き続き成長戦略の実行、株主還元・資本政策の推進およびIR活動の拡充を通して、PBR1倍割れの早期解消を目指しております。

	2022年度	2023年度	2024年度
ROE	3.60%	2.94%	3.22%
株主資本コスト	4.02%	3.42%	2.55%
イクイティ・スプレッド	▲ 0.42%	▲ 0.48%	+0.67%
PBR	0.47倍	0.62倍	0.64倍
株価	955円	1,275円	1,346円

- 大型M&Aののれん償却(3.1億円/年)により、当面(10年間)ROE1.0%強の押下げ要因となるため、第13次中計ではROE**6.0~7.0%**水準を実現し、その後ROE**8.0%**を目指す
- 株価に関しては、株主還元ほか資本政策の実施により、**2,000円**の実現によりPBR1倍割れを解消を目指す

2027年度

6.00~
7.00%

1.00~
1.02倍

2,000円

2

配当方針（株主還元）

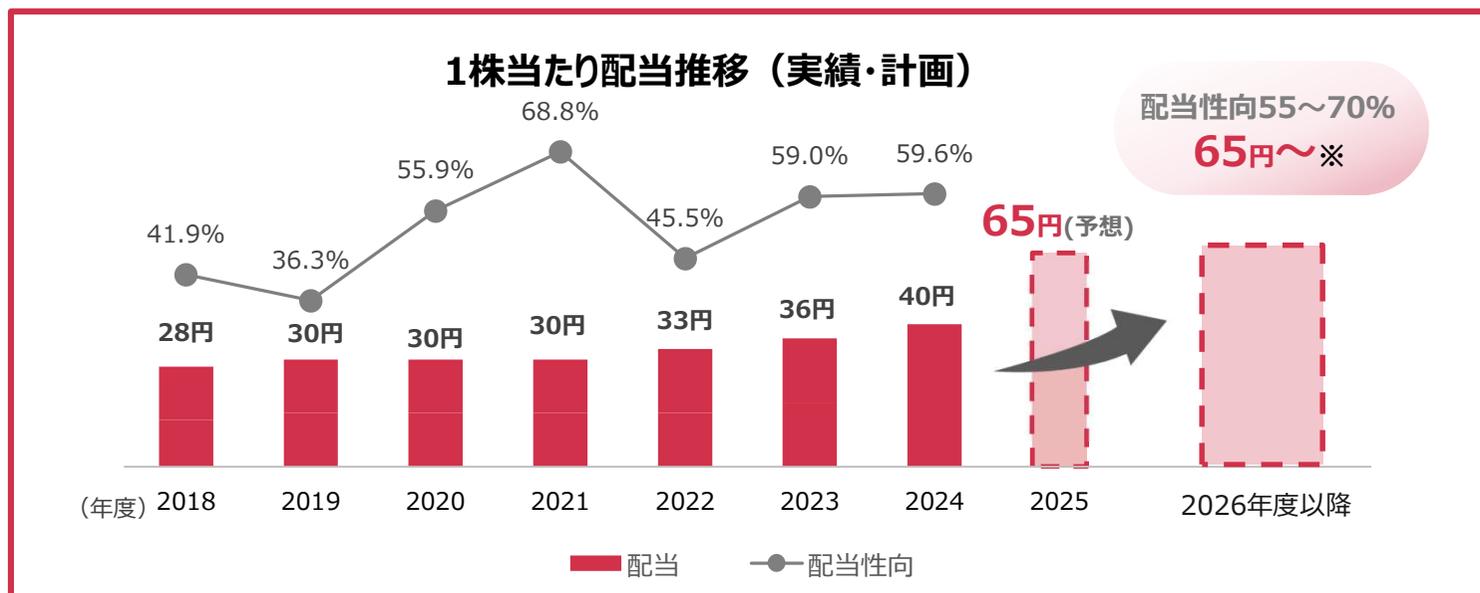
当社は、前中計まで当社株式を長期的に保有頂く株主の皆さまのご期待に応えるべく、配当性向を指標とした安定的な配当を実現してまいりましたが、この第13次中計では、この方針をより明確にするため、配当性向に加えて「株主資本配当率（DOE）」を指標として採用することといたしました。

第12次中計配当方針

配当性向 **50%** を目途に安定配当

第13次中計配当方針

DOE **3.0%** を下限値として
配当性向 **50%** を目途に安定配当



※2025年度以降の配当金額は、第13次中期経営計画の計数計画を前提として、DOE3%を下限とした場合の試算であります。

3

サステナビリティに関する取組み

東洋テックグループは、「安心して快適な社会の実現に貢献する」という経営理念のもと、時代や社会のニーズに即した高品質のサービスを提供し、持続可能な社会の実現に挑戦し続けることを基本方針とし、以下の施策に取り組みます。

第13次中期経営計画期間(2025.4~2028.3)における取組

マテリアリティ	アプローチ	KPI
地球環境への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ①紙削減 ②CO2排出量削減 ③サステナブル・モビリティ推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①紙使用量：2024年度比▲50% ②・ガソリン使用量(売上高100万円あたり)2024年度比▲20%(0.17(t-CO2/百万円)) ・電気使用量(従業員1人あたり)2024年度比▲20%(0.14(t-CO2)/人) ③現金輸送率50%小型化、営業車両のエコ化推進、電気自動車用充電設備の推進
人材マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ①人権デュー・ディリジェンス ②エンゲージメント ③健康経営の実施 ④働き方改革 ⑤ダイバーシティ ⑥人財育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①人権方針に基づく従業員に対する人権研修の実施 ②・エンゲージメントサーベイのスコア向上(グループ平均6.73点→7.00点以上に) ・メンター制度の拡充 ③健康経営優良法人を継続取得 ④有給休暇取得率 70% ⑤女性管理職比率 15%、65才以上高齢者雇用の継続推奨、外国人の積極的な活用・登用 ⑥社内競技大会(S1クラブアプリ)の継続実施、研修費用の拡大、専門資格保有者の増強
社会環境に適合したサービス提供	顧客満足度の高い新たなハイスペックサービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ラスト・ワンマイルを活用したBtoCを中心とした事業の展開 ・AIとDXを活用したサービス拡充
自然災害等への危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ①BCP体制の充実 ②地域社会への災害対策推進活動 	<ul style="list-style-type: none"> ①災害対策訓練/避難訓練/システム障害訓練等の継続実施、緊急避難者の受入れを想定した防災用品の整備 ②地域主催の災害訓練参加
コンプライアンス	<ul style="list-style-type: none"> ①コンプライアンス意識の醸成 ②コーポレートガバナンス強化 	<ul style="list-style-type: none"> ①コンプライアンス研修の実施、テックアカデミー活用による社会人教育の実施 ②取締役会の実効性向上、リスクマネジメント委員会の実効性向上
地域・社会貢献	<ul style="list-style-type: none"> ①行政機関・教育機関との連携 ②スポーツ文化支援、地域活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ①SX(サステナビリティトランスフォーメーション)の取組として「防災とビジネス」のテーマで大学と連携 ②スポーツチームのスポンサー契約、地域イベントへの定期的な参加/協賛

4

人的資本経営に関する取組み

当社では、従業員の働きやすさ、働きがいのある会社、チャレンジを奨励する企業風土の醸成により、選ばれる会社を実現するため、人的資本の最大化・企業価値の向上を目指してまいります。

人的資本経営の高度化

人事運営の可視化

- ・ 報酬制度の充実
- ・ フリンジ・ベネフィットの充実
- ・ 最適なアサインメント
- ・ 公正な人事評価



納得性の
ある処遇

ウェル・ビーイング推進

- ・ 組織的なメンターシップ
- ・ 社内の情報格差解消による
帰属意識の高揚
- ・ サーベイの定期実施による
課題抽出・改善
- ・ 健康経営
- ・ 「人」の視点からのCRE戦略



チャレンジ
な業務遂行



エンゲージメント
向上

チャレンジを奨励する企業風土

- ・ TECイズムの浸透
- ・ 社内公募・社内ベンチャー制度
- ・ DE&I推進

■ ウェルビーイング経営の目的



従業員エンゲージメント
の向上

働きがいのある職場環境の整理と
健康経営の進化を包括的に推進。



全ステークホルダーの
ウェルビーイング実現

従業員のみならず、委託先を含むすべ
ての関係者の幸福を目指す。



サステナビリティ課題への
継続的な取組み

サステナビリティ取組みを強化し、市場
からの信頼と企業価値を高めます。

■ 取組み内容「MY TEC」

エンゲージメント向上のための強力なインフラと
して、専用アプリ「MY TEC」を全役職員へ展開。



会社のニュースをタイムリーに通知



規程やマニュアル等の共有資料の閲覧



各種優待や健康維持のコンテンツを提供

「届かない」を「いつでも」に!



【社内コミュニティ投稿】



東洋テックってどんな会社？

- ・設立60年周年を迎えた「**警備とビル管理の会社**」で関西で唯一の上場警備会社

東洋テックの強みは？

- ・**ビル1棟の管理を丸ごと請け負える総合ビル管理の会社**
- ・14期連続の増収、創業以来、営業利益・経常利益は黒字の**安定した業績**

東洋テックの現状は？

- ・2025年度は大阪・関西万博の特需で**大幅な増収増益**で好調
- ・2025年度配当は年間65円(前年度比25円増配)を予定し、**株主還元を強化**

東洋テックの今後は？

- ・警備・ビル管理を中核とした『**総合生活安全企業**』への**進化**
- ・**新たな成長領域への進出**による成長(設備管理24時間体制・ライフエンハンス事業)
- ・**ウェルビーイング経営の実践**による成長(人的資本経営の高度化・株主還元強化)



4/24 終値 1,310
ニュースリリース
「配当方針の変更に関するお知らせ」

7/30 終値 1,586
7/31 終値 1,690
・7/30決算発表

人・街・未来をまもる
東洋テックグループ



記載内容に関するご注意

当資料は、あくまでも東洋テック株式会社をより良く理解していただくためのものです。

記載されている内容等は、当社が現時点で把握しているデータ等種々の前提に基づいて作成したものであり、記載された将来の計画数値、施策等の実現を確約したり、保証したりするものではありませんので、予めご了承下さい。

人・街・未来をまもる



東洋テック株式会社